

不溶性組換え型ポリペプチドの可溶化方法

不溶性の凝集性組換え型ポリペプチドを巻き戻し操作中に可溶化する技術

概要

微生物を宿主とする遺伝子組み換えにより産生される蛋白質は、凝集体(封入体)として単離される場合が多い。そのために発現蛋白質の産生効率が低下する。本発明は、凝集蛋白質を溶媒中で巻き戻し操作中にPEG化することにより、構造が安定化し、元の蛋白質の機能を有する巻き戻し可溶性蛋白質を調製する方法を提供する。

効果・応用例

凝集蛋白質の溶媒中における巻き戻し操作中にPEG化を行って、収率の向上、体内半減期の延長、可溶化、分散性の向上などを果たすことができる。PEG化蛋白質の機能評価を検討した結果、nativeな蛋白質と同様の活性を示し、機能的に変化しないことが確認された。

<応用例>

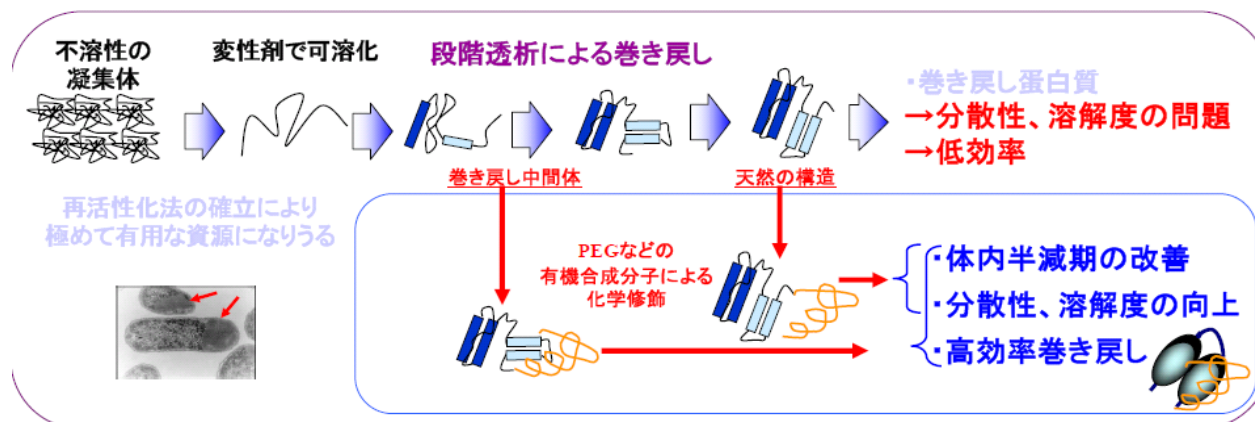
- ・研究用試薬
- ・臨床検査薬
- ・医薬品

特許データシート

特許番号: 特許第5733693号

発明者: 熊谷泉、浅野竜太郎、梅津光央

本発明の概要(原理と技術・効果)



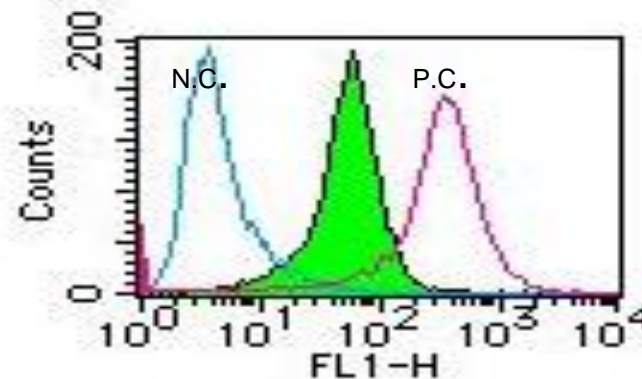
可溶化されたPEG化scFvの結合活性

h528 scFv + PEG20

二次抗体: anti-c-myc-FITC

N.C.: 一次抗体なし

P.C.: h528 Fv



連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

お問い合わせは、[こちら](#) からお願いいたします。